

BKC開設30周年記念企画 身体圏研究連続シンポジウム 第3回

多重環境化社会を生きる 私・身体・心

Society5.0の進展により現実と仮想が高度に融合する世界(多重環境化社会)で、健康やQOLの向上(ウェルビーイング)が重要な課題となっています。その課題に対応するため、立命館大学はスポーツ健康科学を核とした新たな研究領域「身体圏研究」を創成します。

第3回となります本シンポジウムでは人間拡張技術による効果、多重環境化社会におけるコミュニケーションのあり様、生存学(障老病異)の観点やインフラからアプローチする身体圏研究について、専門家の知見をもとに深めてまいります。BKC開設30周年記念事業として全4回のシリーズで開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

2024 **11.6** WEDNESDAY 13:30 — 17:30

会場 立命館大学びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館 5F 大会議室
オンライン同時配信(Zoom)

参加申込(無料)



[https://bit.ly/
spo241106](https://bit.ly/spo241106)

問い合わせ先
立命館大学 スポーツ健康科学総合研究所 事務局
spo-ins@st.ritsumei.ac.jp/077-561-2802



共催 立命館大学スポーツ健康科学総合研究所/
立命館先進研究アカデミー(RARA)
協力 アクティブライフ共創コンソーシアム/立命館大学 生存学研究所

身体圏研究の拠点として、国内最大級のVRアリーナなど最先端の研究設備を備えた「立命館先端クロスバースイノベーションcommons(CVIC)」を文部科学省「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の補助金を受けてBKCに新設します(2025年3月竣工予定)。